

統計研修講義計画書

研修課程	教育関係者向けセミナー	講義科目		講義時間	2コマ
講師	竹内 光悦 実践女子大学人間社会学部教授				

講義のねらい

これまでの統計に関する授業では、統計量を特徴や統計手法の理論を学ぶことが多かったですが、課題や問題を考えるところから始め、データ収集・分析、そして考察を行い、それでも十分でなければまた課題や問題を考え直すところに戻る、いわゆる PPDAC (Problem-Plan-Data-Analysis-Conclusion) サイクルを実践する力の育成が期待されています。本講義では、これらの PPDAC サイクルの導入を行い、公的統計を使いながら、実際にデータに基づく問題解決力の育成を踏まえた授業を展開するために、実習を交えながら、これらの体験型学習の展開を学びましょう。

指導項目と内容

指導項目	内 容
1. 「統計的思考方」の導入	データ（根拠）に基づく問題解決力の育成、「統計的思考方」について、その導入の考え方を学びます。また近年行われているイベントに触れ、教室外でのデータ分析体験イベントを紹介します。
2. PPDAC サイクルの流れの理解	データに基づく問題解決の考え方である PPDAC サイクルを導入し、近年の「求める」から「考える」へ統計教育の変化を理解します。
3. 測定すること、データをまとめること、グラフで説明すること	既存のデータがない場合の測定方法、またそれらを統計グラフ等を使ってまとめること、説明することを体験します。
4. 問題解決のための統計グラフのポイント	問題解決のための統計グラフのポイントを知り、ICT の活用したまとめ方を学びます。
5. 公的統計の紹介と活用	公的統計の種類やその情報の探し方を学びます。加えて、実際にグループに分かれ、公的統計を用いた問題解決を行う学習を体験し、統計的に見たり、考えたりすることを学びます。

講義形態 指導方法

講話および演習

受講に必要な 基礎知識等

特になし